

浅海定線調査結果(令和5年8月18日)

福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所

1. 観測結果

		令和5年8月	平年値との差 (平年値)	昨年8月との差 (昨年8月観測値)
水温 (°C)	表層	28.8	+ 0.8 (28.0)	+ 0.4 (28.4)
	底層	25.5	+ 0.2 (25.3)	- 1.9 (27.4)
塩分 (PSU)	表層	29.53	- 1.37 (30.90)	- 2.50 (32.03)
	底層	31.17	- 0.62 (31.79)	- 0.99 (32.16)
透明度 (m)		8.1	+ 3.2 (4.9)	+ 6.2 (1.9)

※ 観測値 : 周防灘12定点の平均値を表しています。

※ 平年値 : 過去30年分の同月平均値を表しています。

2. 概況

(1)水温

・表層はやや高め、底層は平年並みでした。

(2)塩分

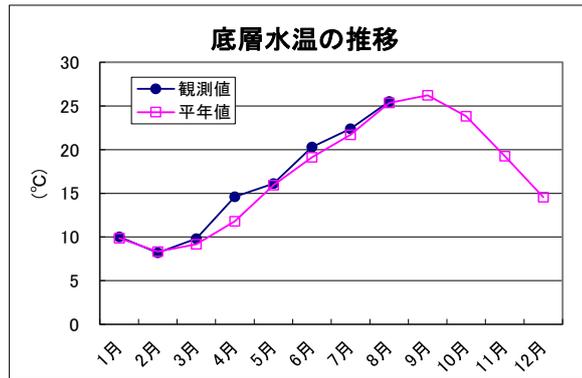
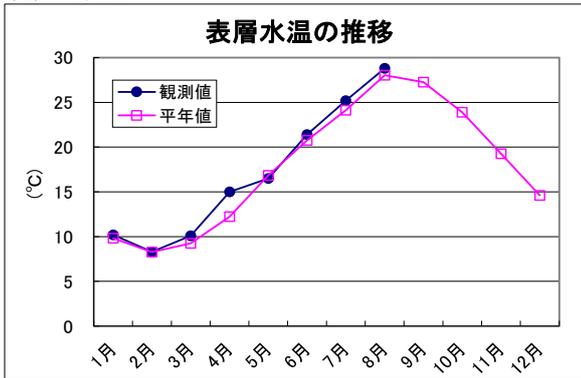
・表層、底層ともにやや低めでした。

(3)透明度

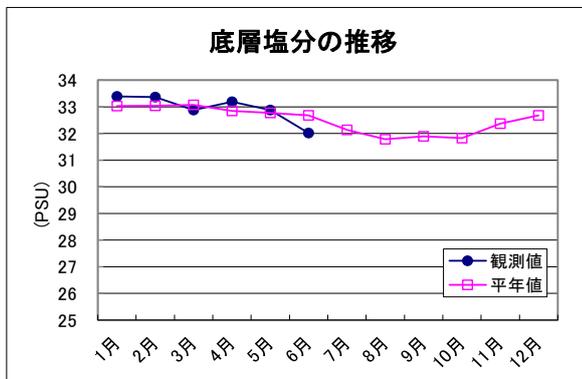
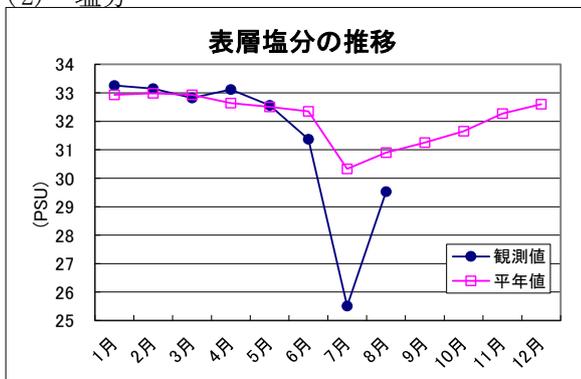
・透明度は甚だ高めでした。

調査結果(グラフ)

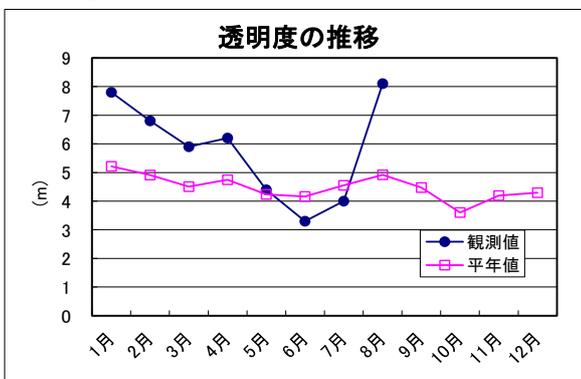
(1) 水温



(2) 塩分



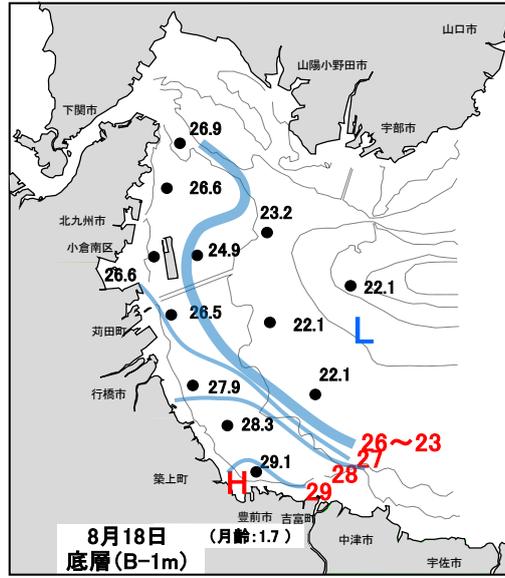
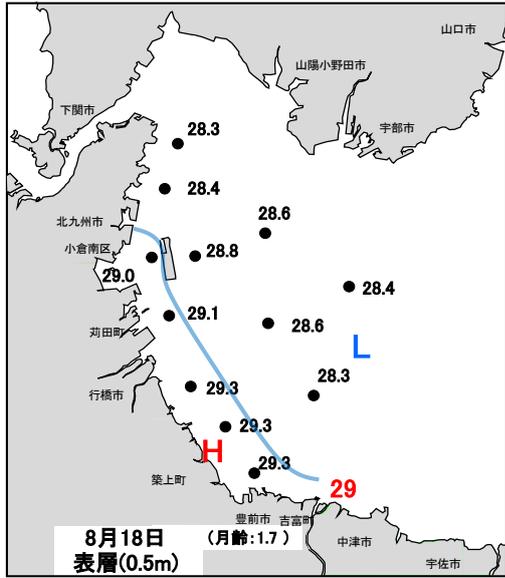
(3) 透明度



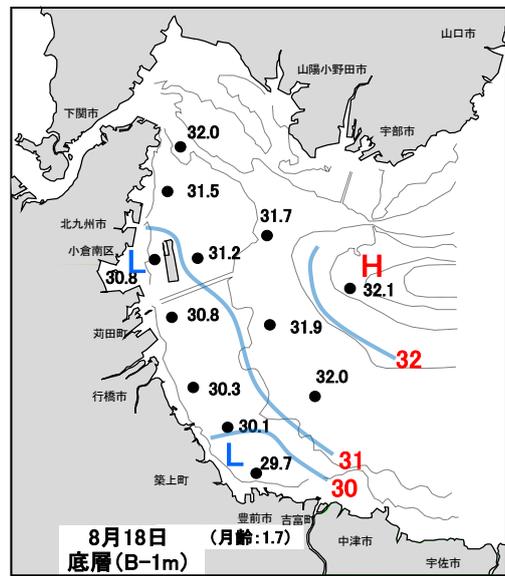
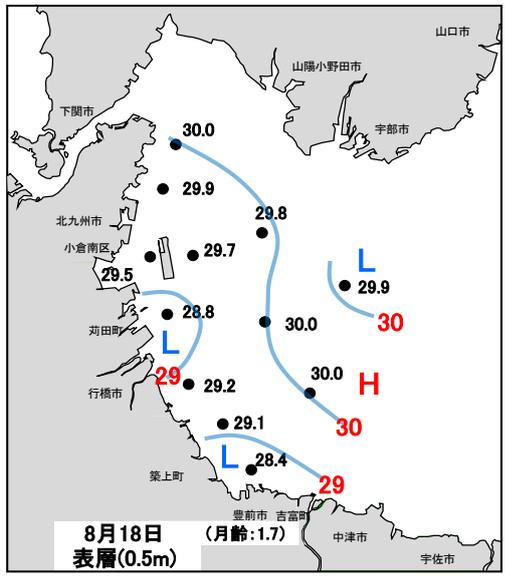
3. その他

- ・ 調査区域内で赤潮による海面の変色は見られませんでした。
- ・ 南部海域の沖合と荻田地先の底層で 酸素濃度が50%を下回っていました。
- ・ 北部と南部の沿岸域調査点の表層と5m層の海水中に、麻痺性貝毒プランクトンは確認されませんでした。

水温



塩分



透明度

